国土交通省東北地方整備局
Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

阿武隈川改修100年 SINCE 1919

記者発表資料

平成３０年　７月　６日
福島河川国道事務所

高校生が相馬福島道路の工事現場を体験します。
～建設業界の役割や魅力を伝えることを目的に現場見学会～

東北中央自動車道（相馬福島道路）は、震災復興のリーディングプロジェクトとして、平成32年度の一部開通を目指して、事業を進めているところです。
このたび、県内の高校生約200名が、相馬福島道路の工事現場を見学し、土木工事の最前線を体験します。
この見学会は、（一社）福島県建設業協会が主催の建設工事現場見学事業で、平成2年度から県内の高校生等を対象に実施しているものです。
見学会を通して、高校生の皆さんに相馬福島道路の役割を理解していただくとともに、建設業の役割や土木工事の魅力に直接触れていただきたいと考えています。

１．日　時
＜第１回＞平成30年6月14日（木）　13:20～14:30程度（県立福島明成高校 40名）　実施済
＜第２回＞平成30年7月 9日（月）　13:10～14:20程度（県立岩瀬農業高校 40名）　今回実施
＜第３回＞平成30年7月10日（火）　10:30～14:10程度（県立二本松工業高校 37名）今回実施
＜第４回＞平成30年7月18日（水）　10:50～14:30程度（県立平工業高校 40名）
＜第５回＞平成30年9月 6日（木）　10:30～11:40程度（学法福島高校 32名）

２．概　要
東北中央自動車道（相馬福島道路）の工事現場にて、工事中でなければ見ることの出来ない土木工事の施工状況を見学していただきます。
見学会は全５回を予定しており、第２回は“（仮）桑折高架橋”、第３回は“ＩＣＴを活用した工事現場（※）”及び“（仮）桑折高架橋”で開催します。

※建設現場の生産性向上を目指し、施工プロセスの各段階で３次元データを活用する工事です。

【主なスケジュール】
＜第２回＞平成30年7月 9日（月）
13:10までに現地（別添位置図①参照）にお集まり下さい。
＜第３回＞平成30年7月10日（火）
午前　10:30までに現地（別添位置図②参照）にお集まり下さい。
午後　13:00までに現地（別添位置図①参照）にお集まり下さい。
＜第４回＞、＜第５回＞の予定については、別途お知らせいたします。

３．取材について
①当日取材を希望される方は、事前にご連絡をお願いします。
②現場に入場する際はヘルメットの着用をお願いします。事前に連絡をいただければこちらで用意します。
※取材申込先：福島河川国道事務所　計画課　TEL 024－546－4331（代表）

＜＜発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ＞＞

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　福島河川国道事務所
福島県福島市黒岩字榎平36　　TEL 024－546－4331(代表)

副所長(品確)　遠藤（えんどう）　徹（とおる）　（内２０６）

【事業に関するお問い合わせ】

工務第二課長　松本（まつもと）　章（あきら）　（内４１１）

【見学に関するお問い合わせ】

計画課長　下田（しもだ）　一朗（いちろう）（内２６１）

位　置　図

凡例
- ：事業中区間
- ：開通済区間

東北中央自動車道　相馬福島道路　延長45km

（仮）桑折高架橋

桑折町大字松原（こおりまち おおあざ まつばら）

福島県伊達郡（ふくしまけん だてぐん）

平成32年度開通予定

平成32年度開通予定

相馬玉野～霊山
延長17.0km
平成29年度開通済
（H30.3.10開通）

福島県伊達市霊山町下小国（ふくしまけん だてし りょうぜんまち しもおぐに）

相馬山上～相馬玉野
延長10.5km
平成28年度開通済
（H29.3.26開通）

福島県相馬市東玉野（ふくしまけん そうまし ひがしたまの）

平成31年度開通予定

福島県相馬市山上（ふくしまけん そうまし やまかみ）

東北中央自動車道
E13

（仮）福島北JCT

（仮）国道4号IC

ICT工事現場

福島飯坂IC
E4

福島大笹生IC

（仮）福島保原線IC

東北自動車道

福島JCT

霊山IC

E13

霊山飯舘IC

相馬玉野IC

相馬山上IC

新地IC

相馬IC

E6

特殊通行規制区間

落石崩壊・岩石崩壊
（延長8.0km）

落石崩壊
（延長11.5km）

南相馬鹿島SIC

常磐自動車道

南相馬IC

福島県



位置図①

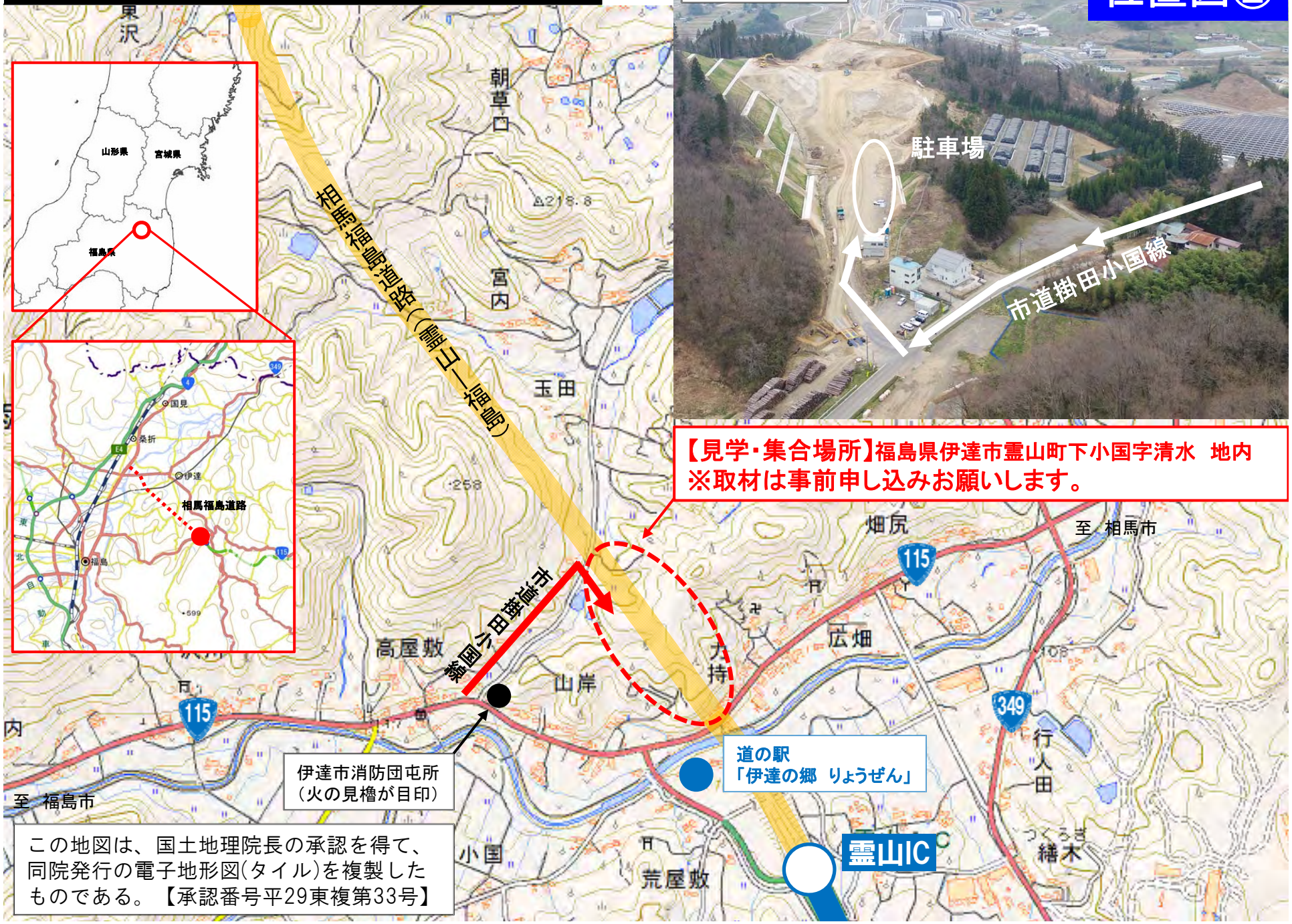
◇ 見学会日時：第2回　7月　9日(月),13時10分
第3回　7月10日(火),13時00分



【見学・集合場所】福島県伊達郡桑折町字蒲田　地内
※取材は事前申し込みお願いします。

◇ 見学会日時：第3回　7月10日(火)，10時30分

位置図②

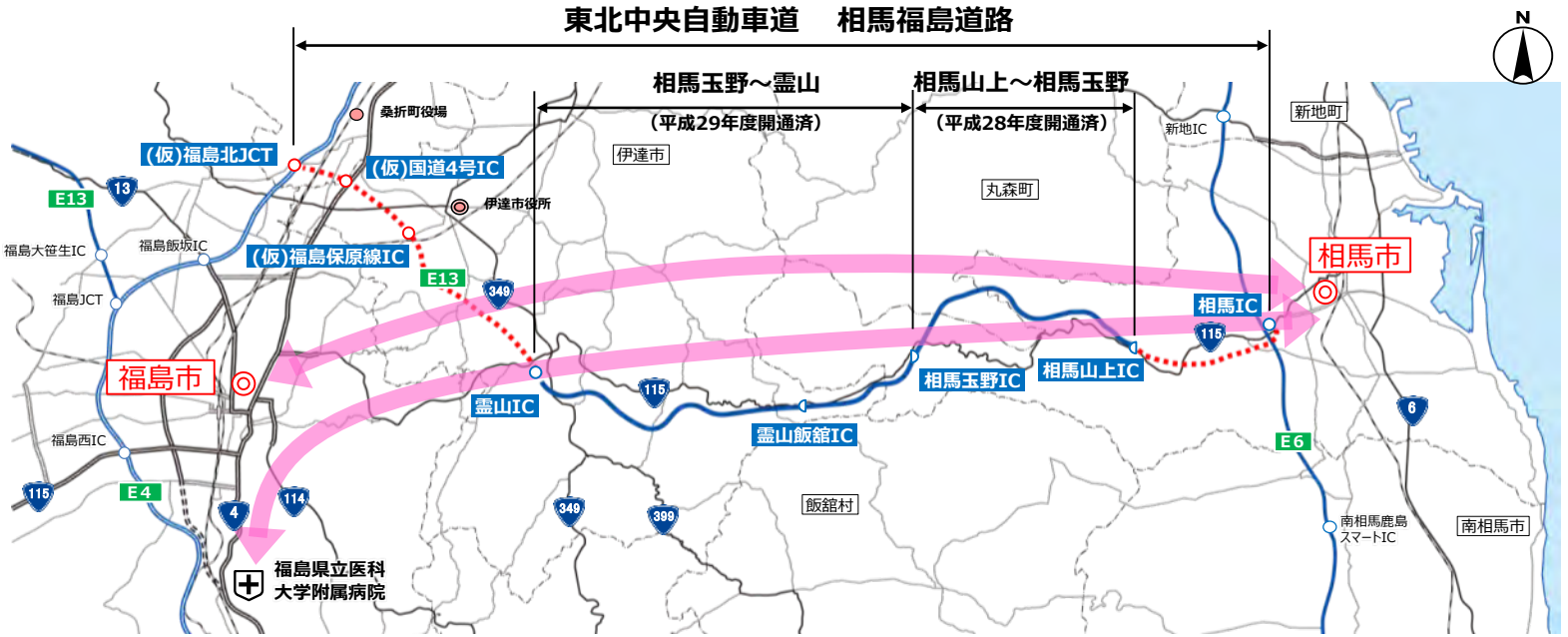


【見学・集合場所】福島県伊達市霊山町下小国字清水　地内
※取材は事前申し込みお願いします。

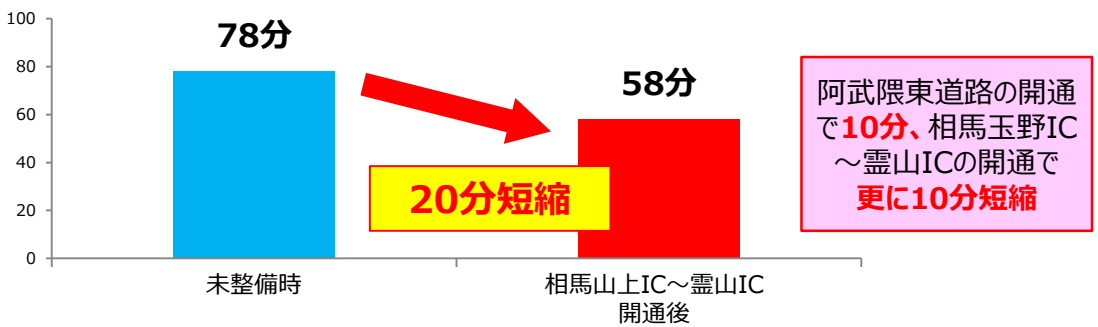
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。【承認番号平29東複第33号】

－相馬～福島間の所要時間が短縮－

◆相馬福島道路（相馬山上IC～霊山IC）の開通により、相馬市～福島市間の所要時間は未整備時より20分短縮
◆救急搬送の速達性確保のほか、観光交流・企業活動の活性化を支援

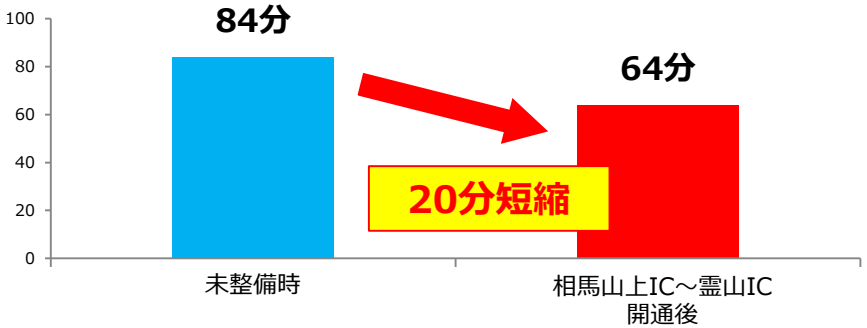


▼相馬市役所⇔福島市役所の所要時間の変化



阿武隈東道路の開通で**10分**、相馬玉野IC～霊山ICの開通で**更に10分短縮**

▼相馬市役所⇔福島県立医大病院の所要時間の変化



出典：H27年全国道路・街路交通情勢調査
※国道115号・相馬福島道路経由　※相馬福島道路の区間は70km/hで算出

効果１：相馬～福島間の安全、安心な通行を確保

◆相馬～福島間を結ぶ国道115号は、急カーブや急勾配区間が連続し、災害等で通行止めが頻発
◆相馬山上IC～霊山ICの開通により、急カーブや急勾配、事前通行規制区間等の交通難所はほぼ回避できるようになり、相馬～福島間の安全、安心な通行を確保

国道115号では災害による通行止めが頻発（過去10年で14回の全面通行止めが発生）





効果２：救急搬送の速達性･安定性を確保

◆相馬市等の沿岸部は、第三次救急医療施設がないため、福島市にある福島県立医大病院へ約8割が搬送
◆国道115号は線形不良箇所が多く、消防署からは搬送時の患者への負担が大きい等の課題を指摘
◆相馬山上IC～霊山ICの開通により、相馬市役所～福島県立医大病院間の所要時間は未整備時より20分短縮されるとともに、安定走行が可能となり、搬送時の患者への負担が軽減



【相馬消防署の声】
国道115号は**急カーブや急勾配等の区間が多くあり、緊急車両も安定した走行が出来ず患者に負担を掛けている。**



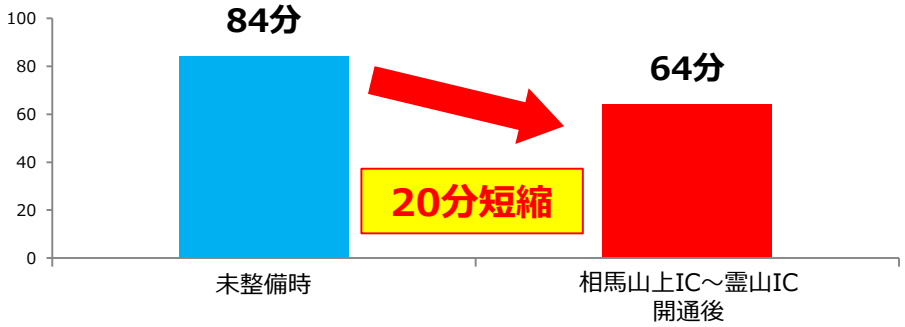
▼第三次救急医療施設への搬送割合
（H21～H28）

沿岸３市町から第三次救急医療施設への搬送件数（H21～H28）

全搬送件数：920件/8年	
うち、福島方面	713件（78%）
うち、仙台方面	171件（19%）
うち、いわき方面	30件　（3%）

出典：相馬地方広域消防本部ヒアリング

▼相馬市⇔福島県立医大病院間（国道115号･相馬福島道路経由）の所要時間



出典：H27年全国道路･街路交通情勢調査
※所要時間は相馬市役所～福島県立医大病院間で算出
相馬福島道路の区間は70㎞/hで算出



【相馬山上IC～霊山IC間　救急搬送状況】

効果３：交流人口の増加、活発な観光交流に期待

◆東北中央道（福島～米沢）開通後、福島市や米沢市内の観光施設において来訪者が増加（約1.4～2倍増）
◆H30.3.24に開業した道の駅「伊達の郷りょうぜん」が開業４０日で来場者３０万人を達成、新たな観光・交流拠点の場を形成
◆相馬～福島間の整備により新たな広域ネットワークが形成され、更なる交流人口の増加と活発な観光交流に期待

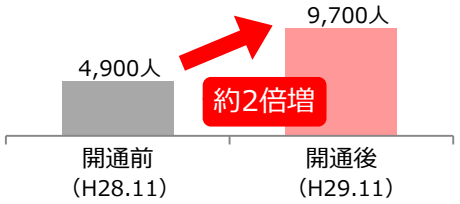
▼東北中央自動車道・相馬福島道路開通に伴う
広域的な観光周遊ルートの形成イメージ



出典：H27年全国道路・街路交通情勢調査、東北中央道の区間は70km/h、相馬福島道路の区間は80km/hで算出

■飯坂温泉（福島市）

▼山形方面からの来訪者数の変化



出典：「混雑統計®」©ZENRIN DataCom CO., LTD.

※「混雑統計®」データは、NTTドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」サービスのオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータ。位置情報は最短5分毎に測位されるGPSデータ（緯度経度情報）であり、性別・年齢等の個人を特定する情報は含まれない。

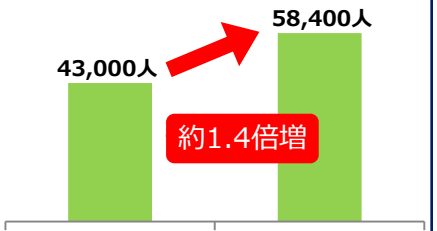
道路開通に合わせた地域連携で
山形方面からの観光客が増加



出典：平成29年11月8日　福島民報

■上杉城史苑（米沢市）

▼観光入込客数の変化



出典：上杉城史苑

■道の駅 伊達の郷りょうぜん（伊達市）



▲平成30年3月24日 入込状況

主な施設：産直、レストラン、道路情報提供施設　等
敷地面積：約14,400㎡　駐車台数：97台

5/2（水）
開業から 40 日目で達成
道の駅来場者が 30 万人を突破
道の駅「伊達の郷 りょうぜん」

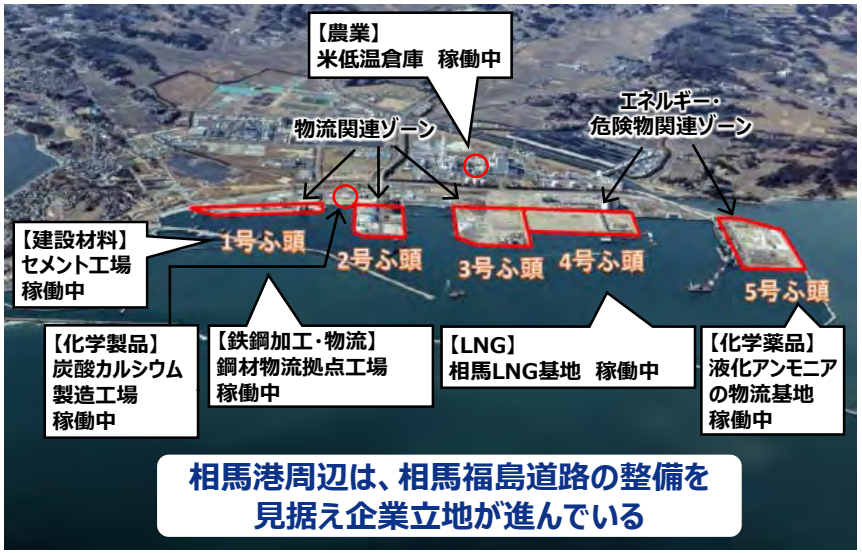
道の駅「伊達の郷 りょうぜん」の来場者数が開業から 40 日目で 30 万人を突破し、記念セレモニーを行いました。30 万人目となったのは、霊山町の菅野さんご家族。記念品として、酒井祐一駅長が、伊達市オリジナル日本酒「初代朝宗」や地元産のイチゴなどを贈呈しました。菅野さんは「おいしそうなイチゴをいただけてうれしいです。道の駅ができて、これからますます地元の発展に期待していきたいです」と喜びを語りました。



出典：だて市政だより（平成30年6月号）

効果４：物流効率化で企業活動を支援

◆相馬港周辺は、相馬福島道路の整備を見据え企業立地が促進
◆国道115号の連続した線形不良区間を走行する際は、常に荷崩れや横転等の危険性が高く、ドライバーの精神的な負担が増大
◆相馬福島道路は、中通り地方と浜通り地方との物流を支える大動脈として機能し、走行性の向上や時間短縮による物流効率化により企業活動を支援



出典：福島県相馬港湾建設事務所

▼国道１１５号の左右急加速度発生箇所



出典：加速度調査結果（H28.9.22）より
※単位（G）とは、加速度の単位で、重力加速度を1.0Gと表した単位である。すなわち、1.0G=9.80665m/s²である。
※0.2G以上の揺れ：体が横滑りする感覚を受け、長く続くと不快感を受ける加速度

【化学薬品製造会社の声】



■炭酸カルシウムは**急カーブ・急勾配が続くと重さが偏り横転する危険性**があります。
■現在、輸送ルートは主に国道115号を利用しており、急カーブ箇所も多いため**常に細心の注意を払って輸送**しております。
■相馬福島道路が開通すれば、**輸送時に横転する危険がなくなる**他、**輸送頻度・出荷量の増加**に繋がることも期待できます。

【農産物取扱流通会社の声】



■沖縄県への米の出荷量は、年間約4,000tあり、沖縄県向けの米の約8割は会津・中通り地方から国道115号や相馬福島道路を通過して、相馬港まで輸送されます。
■相馬福島道路が全線開通すると、**会津地方、中通地方から相馬港への輸送負担が軽減されます**。
■道路整備による**時間短縮、走行経費削減にも大いに期待**しています。

【相馬港進出の鋼材販売会社の声】



■山形や秋田の日本海側への需要拡大が見込まれ、**東北各地へ高速道路を利用したアクセスが優れることから相馬港に進出**しました。
■**相馬福島道路が全線開通すれば、物流面での効率化が格段に向上**します。

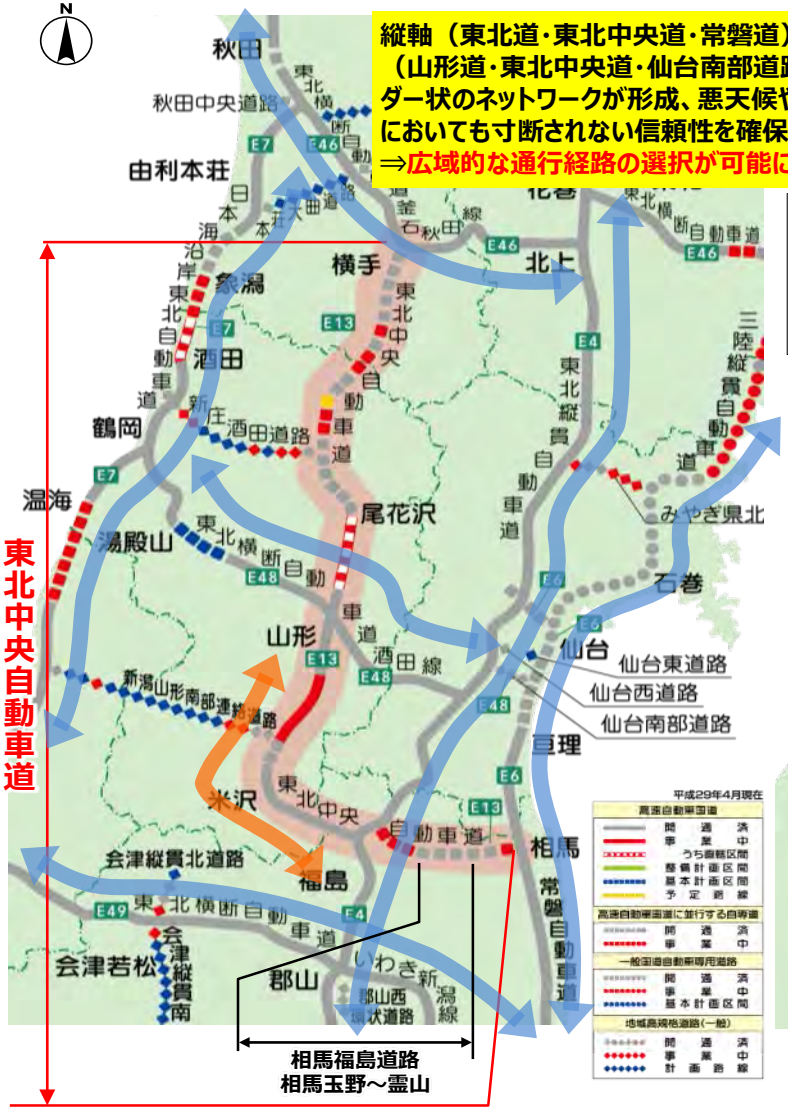
参考

－東北地方の広域的な道路ネットワークが形成－

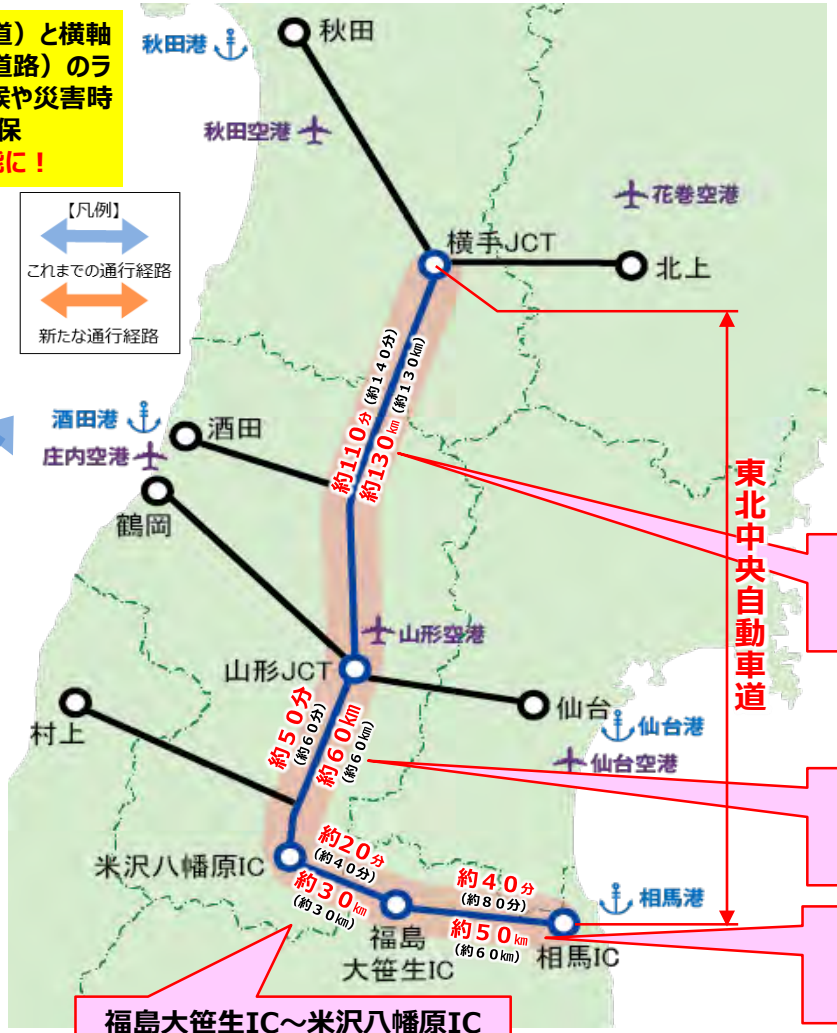
■東北中央道の開通により、広域的な通行経路の選択が可能となり、悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

■相馬IC～横手JCT間における所要時間は約１００分（約３割）短縮

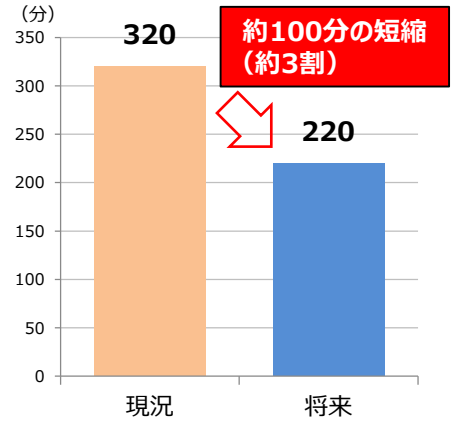
▼高規格ネットワーク図



▼東北中央道（相馬IC～横手JCT間）の所要時間変化（将来）



▼東北中央自動車道における起終点間の所要時間
【相馬IC～横手JCT間】



出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査　昼間非混雑時旅行速度
※所要時間・距離の記載は、東北中央自動車道開通後の所要時間にて算出
※（ ）は現況とし、平成27年度時点の並行路線等の所要時間・距離を記載